

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

お客様各位

資料中の「日立製作所」、「日立XX」等名称の株式会社ルネサス テクノロジへの変更について

2003年4月1日を以って三菱電機株式会社及び株式会社日立製作所のマイコン、ロジック、アナログ、ディスクリート半導体、及びDRAMを除くメモリ(フラッシュメモリ・SRAM等)を含む半導体事業は株式会社ルネサス テクノロジに承継されました。従いまして、本資料中には「日立製作所」、「株式会社日立製作所」、「日立半導体」、「日立XX」といった表記が残っておりますが、これらの表記は全て「株式会社ルネサス テクノロジ」に変更されておりますのでご理解の程お願い致します。尚、会社商標・ロゴ・コーポレートステートメント以外の内容については一切変更しておりませんので資料としての内容更新ではありません。

ルネサステクノロジ ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2003年4月1日
株式会社ルネサス テクノロジ
カスタマサポート部

平成 10 年 12 月 10 日

日立半導体技術情報

〒 1 0 0 0 0 0 4

東京都千代田区大手町 2 丁目 6 番 2 号

(日本ビル)

TEL (03)5201-5016

(ダイヤルイン)

株式会社 日立製作所 半導体事業部

題 目	HD64572 SCA-II ユーザーズマニュアル EDA レジスタライトアクセス時の注意	発行番号		TN-PSC-337B	
		分 類	1. 仕様変更 2. ドキュメント訂正追加等 ③ 使用上の注意事項		
適 用 製 品	HD64572FL33	対象ロット等	関連 資 料	有効期限	
	HD64572AFL33	マーク印 HD64572		HD64572 SCA-II ユーザーズマニュアル HD64572 SCA-II ユーザーズマニュアル(第2版)	平成 11 年 3 月 31 日

日立 HD64572 SCA-II ユーザーズマニュアル(ADJ-602-160 及び 160A) 第 6 章 DMAC におきまして、EDA レジスタライトアクセス時の注意事項に説明不足が有りました。使用上の注意として訂正させて戴きます。また、本訂正に伴いチェインブロック転送モードにおける使用上の制限が発生しますので、ご注意願います。

記

HD64572 SCA-II ユーザーズマニュアル (ADJ-602-160) ...P.349

HD64572 SCA-II ユーザーズマニュアル(第 2 版) (ADJ-602-160A) ...P.296

6.2.4 エラー・ディスクリプタ・アドレス・レジスタ (EDABH、EDAB、EDAH、EDAL)

(訂正前)

チェイン・ブロック転送モード

チェイン・ブロック転送モード時に、リード/ライトを行うべき末尾のバッファの次のバッファを示すディスクリプタのスタート・アドレス(32ビット)を初期設定します。

カレント・ディスクリプタ・アドレス・レジスタ(CDA)の内容が、このレジスタの内容と一致したとき、チェイン・ブロック転送を終了させます。

本レジスタは、DMA イネーブル状態でもライトが可能です。

本レジスタのリード時はこれからリード/ライトを行うべき末尾のバッファの次のバッファを示すディスクリプタのスタート・アドレスが読み出されます。*

リセット時には、EDA は 00000000H に初期化されます。

【注】 * バイト・アクセス・リードした場合は、その時点での値が読み出されます。

(訂正後)

チェイン・ブロック転送モード

チェイン・ブロック転送モード時に、リード/ライトを行うべき末尾のバッファの次のバッファを示すディスクリプタのスタート・アドレス (32 ビット) を初期設定します。

カレント・ディスクリプタ・アドレス・レジスタ (CDA) の内容が、このレジスタの内容と一致したとき、チェイン・ブロック転送を終了させます。

本レジスタのリード時はこれからリード/ライトを行うべき末尾のバッファの次のバッファを示すディスクリプタのスタート・アドレスが読み出されます。*

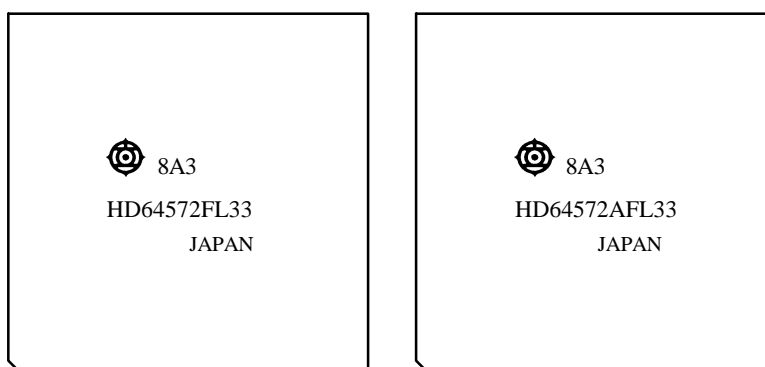
リセット時には、EDA は 00000000H に初期化されます。

- 【注】 * バイト・アクセス・リードした場合は、その時点での値が読み出されます。
また、本レジスタへのライトアクセスは必ず下記状態時に行ってください。
 ・リセット後の初期設定時。
 ・当該チャンネルの DMA ステータス・レジスタ (DSR) の BOF ビット="1" にセットされたとき。
なお、当該チャンネルが動作中に本レジスタへのライトアクセスを行った場合、その後の DMA 転送は保証されません。

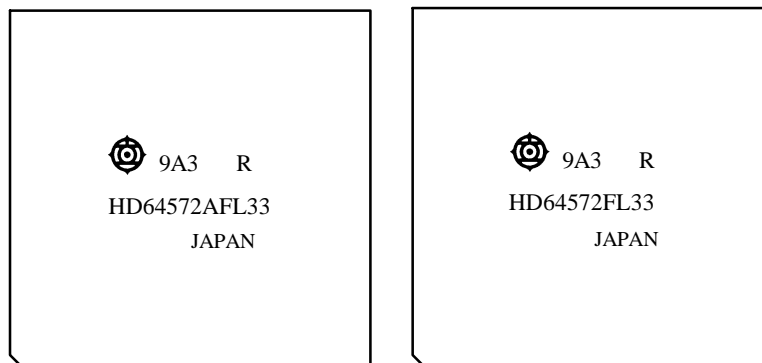
本訂正は、当該チャンネルの DMAC が動作中に EDA レジスタへライトアクセスを禁止するものです。これに伴い、チェイン・ブロック転送モードでは表 6.6 および図 6.17 を用いて説明している転送中にバッファにデータを追加する場合の例、ならびに表 6.9 および図 6.23 を用いて説明している EDA を書き換えることによって、そのバッファへの再度の書込みを可能にする例は使用できません。また、表 6.8 および図 6.22 を用いた説明のうち、書込み可能なバッファを最大限にとるために転送開始後に CDA が更新されてから、EDA に CDA の初期設定値をライトする動作は行わないで下さい。

チェイン・ブロック転送モードで EDA を再設定する場合には、必ず EDA と CDA の値が一致して DSR の BOF ビット="1" にセットされた状態で、DMA 転送が終了したことを確認してから行って下さい。

なお、本技術情報に記載する使用上の制限は下記マーク印のロットにのみ適用します。



下記のようにマーク印にRの表示があるロットからは本技術情報に記載する使用上の制限は解除されます。



また、マーク印にR表示のあるロットとR表示のないロットの違いは、本技術情報に記載する使用上の制限の有無だけであり、それ以外の仕様、特性は全く同一です。